

# 平成25年度 第14回庁議要旨

日時：平成25年10月21日（月）

午前9時～

会場：庁議室

## [審議事項]

### 1 石巻駅周辺整備計画について（復興政策部）

－継続審議－

## [報告事項]

### 1 石巻市中心市街地活性化基本計画の策定について（復興政策部）

平成22年3月に「石巻市中心市街地活性化基本計画」を策定（内閣総理大臣の認定）しているが、東日本大震災の影響により、基本計画で定める中心市街地活性化の基本方針と目標を達成するための多くの事業が実施困難となり、また、中心市街地を取り巻く環境が大幅に変化したことから、基本計画の見直しを行うもの。

[中心市街地活性化基本計画の計画期間]

- ・現基本計画：「H22.3～H27.3」を「H22.3～H26.7」に変更
- ・新基本計画：「H26.8～H31.3」

#### (1) 主な内容

ア 中心市街地活性化基本計画の全体構成（計画期間：H26.8～H31.3）

- (ア) 中心市街地の位置
- (イ) 中心市街地の活性化に関する基本的な方針
- (ウ) 中心市街地の位置及び区域の設定
- (エ) 中心市街地の活性化の目標
- (オ) 公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業
- (カ) 都市福利施設を整備する事業
- (キ) 住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等
- (ク) 商業の活性化のための事業及び措置
- (ケ) 前に掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業
- (コ) 前に掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項
- (ク) 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置
- (シ) その他中心市街地の活性化のために必要な事項
- (ス) 認定基準に適合していることの説明

イ 策定スケジュール

- (ア) 平成25年10月下旬～ 中心市街地活性化検討市民会議・まちづくり活性化推進会議
- (イ) 同年11月上旬 市議会まちなか再生促進特別委員会
- (ウ) 同年12月上旬 基本計画（案）作成・内閣府と認定に向けた協議開始
- (エ) 平成26年2月上旬 中心市街地活性化協議会
- (オ) 同年3月上旬 基本計画確定

- |     |    |      |                        |
|-----|----|------|------------------------|
| (カ) | 同年 | 3月中旬 | 市議会まちなか再生促進特別委員会、全員協議会 |
| (キ) | 同年 | 4月下旬 | 総理大臣認定申請               |
| (ク) | 同年 | 7月   | 総理大臣認定                 |

## 2 平成25年度スマートコミュニティ導入促進事業費補助金による補助金交付の採択について（復興政策部）

株式会社東芝、東北電力株式会社、本市は、3者共同で昨年3月に資源エネルギー庁のスマートコミュニティ導入促進事業費補助金に申請し同年12月にスマートコミュニティ導入促進事業採択審査委員会において同マスタープランの承認を受けた。

今回の補助金交付の採択は、同マスタープランに基づき、平成25年度において、株式会社東芝・東北電力株式会社が行う事業について補助申請を行い、採択されたものである。

東日本大震災により最大規模の被害を受けた石巻市での「世界最先端のエコ・セーフティタウンの実現」を目指し、スマートコミュニティ国内初の商業運用モデル、及び世界の復興モデル都市として『石巻モデル』を世界に発信していくもの。

### (1) 主な内容

次の2事業について、株式会社東芝、東北電力株式会社が補助金交付の採択を受けた。

#### ア 石巻スマートコミュニティ・地域エネルギー管理システムの導入事業（需要家統合システムの導入）

(ア) 申請者：株式会社東芝、東北電力株式会社

(イ) 申請内容：東芝が導入・運用する「需要家統合システム」と東北電力が新蛇田地区に導入予定である「系統安定化システム」の協調連携のためのシステムの開発

(ウ) 平成25年度事業費：102,044,958円

(エ) 平成25年度補助申請額：64,790,449円

#### イ 石巻スマートコミュニティ・防災拠点へのエネルギー管理設備導入事業（BEMS）

(ア) 申請者：株式会社東芝

(イ) 申請内容：次のとおり

- ・避難拠点5箇所へのBEMS導入  
万石浦小学校・向陽小学校・湊小学校・渡波小学校・湊中学校
- ・BEMSからの情報収集機能開発  
太陽光発電設備（発電量）、蓄電池状況（充電量・放電量・残量）、受電量の各データの受信・保存
- ・見える化画面機能の作成  
収集データを基に、BEMS導入施設、本庁舎、関係課PCに、見える化画面を提供する。
- ・サイネージ表示機能の作成  
ポータル画面（お知らせ、メニュー等）、学校向け見える化画面（太陽光発電設備発電量等）、スマートコミュニティ共通画面（電力使用量等）

(ウ) 平成25年度事業費：14,845,150円

(エ) 平成25年度補助申請額：9,515,332円

### 3 日本赤十字社による防災倉庫及び防災資機材の寄贈について（総務部）

昨年11月、日本赤十字社から宮城県、岩手県、福島県の被災3県に対して申し出があり、東日本大震災復興支援事業として、海外の姉妹赤十字社等から寄せられた海外救援金を財源とした防災倉庫及び防災資機材を寄贈されたもの。

#### (1) 主な内容

市内小中学校などの指定避難場所及び離島へ配備

ア 総額 210,800,000円

イ 54か所（9月17日～10月下旬にて配備予定）

(ア) 100人モデル 39箇所（1箇所3,050,000円）

(イ) 300人モデル 15箇所（1箇所4,800,000円）

ウ 発電機、簡易トイレ等（10月下旬～11月下旬にて配備予定）

#### (2) 今後の予定

贈呈式 平成25年11月5日（火）午後1時30分

石巻市立開北小学校

### 4 震災心のサポート事業の実施について（教育委員会）

東日本大震災で児童生徒等を亡くした御遺族の悲しみは計り知れないほど大きく、2年半以上を経た現在でも、多くの方々が一日も心の癒えることのない生活を送っていることから、宮城県教育委員会と協力して、サポートチームを組織し、児童生徒等を亡くした御遺族に対する個別相談や訪問等の相談業務を中心とする心のケアを行うもの。

#### (1) 主な内容

ア 事業名 震災心のサポート事業

イ 実施・運営

本事業の実施主体は、石巻市教育委員会とする。運営にあたっては、宮城県教育委員会から、指導主事及び臨床心理士の派遣を受けて実施するものである。

ウ 構成員 6名

(ア) チームリーダー 1名（管理職経験者）

(イ) 相談員 2名（県教委指導主事兼務）

(ウ) 臨床心理士 2名（非常勤職員 週4日勤務）

(エ) 市職員 1名（本務職員）

※ 遺族の日常的な状況把握等に資するよう、定期的な会議への出席など、保健師（健康推進課及び各総合支所）の参画を得ることとする。

エ 開設期間 平成26年4月から

事業実施期間は当面3か年とし、その後必要に応じて、継続するものとする。

オ 対象者 石巻市立学校に在籍し、震災により亡くなった児童生徒等の御遺族

カ 業務内容

(ア) 児童生徒等の御遺族の状況把握のための調査

(イ) 関係学校への聞き取り

(ウ) 個別訪問

(エ) 来所相談

(オ) 関係機関等との連携調整

(カ) その他

## 5 (仮称)石巻東学校給食センター基本計画の策定について(教育委員会)

東日本大震災により湊及び渡波学校給食センターが使用不能となったため、緊急避難的な措置として東松島市から施設の無償譲渡を受け石巻西学校給食センターを開設し、既存4箇所の学校給食センターにおいても施設能力を超える食数を提供しながら被災した2施設の対応を行っている状況にあることから、被災した学校給食センターを早急に再建し、栄養バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供するもの。

また、新しい学校給食センター((仮称)石巻東学校給食センター)においては、食物アレルギー対応給食の提供を計画するもの。

### (1) 主な内容

#### ア 被災した学校給食施設の再建方法

湊、渡波の両学校給食センターの再建に当たっては、衛生管理基準を十分に満たし、安全安心を確実に担保できる衛生管理機能のほか、効率性を考慮した施設として2施設を1施設に統合集約し整備する。

#### イ 施設の規模及び開所時期等

(ア) 敷地面積 7,000 m<sup>2</sup>超 【現有面積(2施設):5,212 m<sup>2</sup>】

(イ) 建築面積 3,300 m<sup>2</sup>程度 【現有面積(2施設):2,086 m<sup>2</sup>】

(ウ) 施設能力 7,000食/日(被災時の2施設の調理食数6,953食/日)

(エ) 開設時期 平成28年4月予定

#### ウ その他の機能等

##### (ア) 食物アレルギーの対応

平成26年度中に食物アレルギー対応マニュアルの整備を行い、新センターの受配校は、平成28年度の2学期から、それ以外(全市)の学校は、平成30年度の2学期からアレルギー対応給食の提供を行う。

##### (イ) 災害対応機能

東日本大震災の経験から、新学校給食センターを災害時の炊き出し調理施設として位置づけ、学校給食センターにおける災害対応マニュアルの整備を行う。

##### (ウ) 地場産品の活用

子どもたちの郷土への関心を深め、水産業や農業等の地域産業について学ぶなどの教育的効果の観点と産業振興に寄与するため、積極的に学校給食への地場産品の使用を推進する。

#### エ 運営方式

新学校給食センター開設時の円滑な運営開始のほか、災害時の対応や新たに始めるアレルギー対応食の提供、全市的提供準備を行う必要があることを念頭に、当面は直営で運営する。

ただし、既存の他の学校給食センターについては調理業務等の民間委託の検討を行う。

### (2) 今後の予定

ア 平成25年11月～

基本設計・実施設計

イ 平成26年5月～平成27年12月

盛土工事、本体工事(建築・電気・機械)

ウ 平成28年2月～3月

備品設置・試運転等

エ 平成28年4月

開設予定(アレルギー対応給食は2学期から提供開始)

## [その他]

### 1 イタリア共和国チビタベッキア市との姉妹都市締結記念事業について（復興政策部）

平成25年1月24日（事務レベル訪問）に締結した覚書に基づき、「慶長遣欧使節出帆400年記念事業」に併せ、チビタベッキア市行政訪問団を招聘するもの。

#### (1) 主な内容

慶長使節船ミュージアムで開催される「慶長遣欧使節出帆400年記念事業」へチビタベッキア市行政代表団（人数未定）を招聘するとともに、石巻市が主催する歓迎レセプションでは、日本文化（茶道、日本舞踊、箏演奏、はねこおどり）を紹介し、おもてなしの心で接待する。

また、来石期間中は、石巻チビタベッキア文化交流協会と連携しながら、市民とのふれあいの場を通して様々な交流を行う。

- ・ H 2 5 . 1 0 . 3 1 来日／移動日
- ・ H 2 5 . 1 1 . 1 仙台市博物館及び松島視察
- ・ H 2 5 . 1 1 . 2 石巻市長表敬、被災地視察、慶長遣欧使節出帆400年記念式典（県主催事業）  
歓迎レセプション（市主催）
- ・ H 2 5 . 1 1 . 3 伊達武者甲冑行列（石巻地域イベント実行委員会主催）への参加  
石ノ森萬画館見学、酒造見学ほか
- ・ H 2 5 . 1 1 . 4 石巻を出発
- ・ H 2 5 . 1 1 . 7 帰国

### 2 第22回かなんまつりの開催について（河南総合支所）

第22回かなんまつりが次のとおり開催することとなった旨、河南総合支所から報告があった。

- (1) 開催日時 平成25年11月2日（土）午前9時20分から午後3時まで
- (2) 開催場所 遊楽館及び遊楽館駐車場
- (3) 開催内容
  - ア 農業部門
    - ・ 地場産野菜、花き、加工品等特産品の即売ほか
  - イ 商い・ものづくり部門
    - ・ 包丁研磨及びまな板、木工品展示即売コーナーほか
  - ウ ひと・文化・交流部門
    - ・ 河南文化協会による歌と踊りの祭典ほか
  - エ イベント・その他
    - ・ 庄司恵子と棕沢かすみの歌とトークショーほか

以上